新小岩北地区震災復興まちづくり訓練
第１回のアンケートにていただいたご意見と葛飾区の考え方

頂いたご意見に対する区の考え方を以下にお示します。
貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の取組の参考にさせていただきます。

（１）「都心南部直下地震による被害の様相」（危機管理課）の内容について

ご意見	葛飾区の考え方
地域危険度の高い地域のため町会でできる取組がなにかあるのか知られるとよかった。	狭隘道路や建物倒壊危険の高い場所など危険個所を事前に把握しておくことや、災害時に一人で避難することが難しい方が地域のどこにいるかを確認し「顔の見える関係づくり」を進めることも、平時からできる取組と考えられます。
今後は熊本を例に対策の効果検証等の結果を教えていただければ有難いと思います。	要配慮者への対応、物資・情報の管理など、実際に被災地で課題になった事項を参考にして「同じことが区内で起きたらどうするか」という視点で、引き続き検討を進めて参ります。
震災時の対応や新小岩のそなえなども気になりました。（避難所がすごしやすくと言っていたが何か対策はできているのか…等）	災害時には、行政や自治町会だけでなく、避難者自身にも協力してもらうことが避難所の環境改善につながります。 （上述＝ご意見１つ目の回答と合わせて、）地域の防災訓練や避難所運営訓練などを通じて、皆さんと一緒に自助・共助・公助の対策を検討して参ります。

その他、意見、感想（訓練のすすめ方、進行スタッフへのコメント等）

ご意見	葛飾区の考え方
1．アニメーションについて ・ビデオ古すぎ。新しくした方が良い。 ・アニメなどの資料が古いのが気になった。 ・歴史的アニメなのだろうがさすがに古すぎでは。その後の事例を取り入れバージョンアップすべき。	使用したアニメーションは平成 10 年に東京都が作成したものです。発災後の復興まちづくりの流れ自体は大きく変わるものではないため、訓練の導入・イメージづくりとして上映しております。 ご指摘いただいたとおり、時代的にそぐわない描写もあるため、内容の刷新に向けて今後検討してまいります。
2．資料について ・資料が見づらいのが残念です。 （赤とみどりの色が混在しており、 ユニバーサルデザインとして見づらい）	いただいたご意見を踏まえ、ユニバーサルデザインにも配慮した資料をお示しできるよう工夫してまいります。
3．環境について ・室内の温度が少し高く休憩時間で調整してもらえましたが伝える方法もなく講義に集中しづらかった。	会場管理に不備があり申し訳ございませんでした。室温等には十分注意してまいります。 暑さ寒さや体調不良など、何かございましたら講義中でも構いませんので、お気軽にお近くの事務局員まで挙手等にてお知らせください。

いただいたご感想など

- これから何をしなければならないかイメージできました。
- 最終日が阪神淡路大震災のちょうど 32 年目というのに運命的なものを感じます。今後の展開を楽しみにしています。
- 都心南部直下地震による被害の様相について、リアリティが不足している。
- 東京都として、区として、自治体として何かできるか具体的に知りたい。
- 復興には複合的に考えなくてはならない…考えが変わりました。わが町を立て直す事を考えます。息子たちにも教えます。
- 具体的事例が多く判りやすかった。モチベーションアップした。
- 神戸の復興の様子、まちのために行われた地域の皆様の取組がよくわかりました。
- “まちづくり”にどのように自分が役に立てるか？イメージが今ひとつわかない。
- 今後のワークの中で区内での過去の取組について説明をいただけると助かります。
- 行政からの案を示すのか？示すとすればどこまで示す。（アニメのように）

たくさんのご意見・ご感想ありがとうございました。